

上島の文芸

水曜会【弓削】

島一つ一つが背負ひ雲の峰

田坂 紫苑

先立てる孫に蹤き兼ね墓参かな

田坂 美代子

胡瓜漬今日も貰ひて帰路樂し

中本 砂恵子

盆の月同級会の十五人

中脇 幸造

生名短歌会【生名】

一瞬の命を燃やす打ち上げ花火

一人し海辺に見る雨の中

浜田 イセ子

孤独をおもんばかりて来てくれる

民生の人涼しき連れて

池田 知幸

お手玉や手毬つく子ら居なくなり

「夏も近づく八十八夜」^{とち} 杏し

池本 滝子

八月の暦を開き子ら帰る

日の近づくを浮き立ちて待つ

村上 マサ

真夏日の高温多湿にうだる日々

こよみは立秋ススキ穂揺れる

村上 優美子

元氣になればがんばるほどほどに

帰りの道辺にコスモスゆれる

渡辺 スズ子

見ていても厭きはしないよ

妻といて無心に遊ぶ孫の仕草

村上 司

むつみ歌会【岩城】

夏終へし球児の瞳よりあふれ出づ

る涙は画面いっぱい

宮本 佳世子

懸崖のさつきの紅花^{べに}見事なり見せ

たきかなやあの世の夫^{つま}に

浪本 綾子

広島の未明の豪雨山津波思ひの人の

安否いまだし

池田 繁雄

腰痛を和らげんとて入浴剤入れれ

ばややに効き目のありし

森本 和佳

白内障両眼手術を無事終へし青き

内海輝きわたる

浪本 三千彦

ボロを着て藁ぞうりはき子守せし

麦飯食べた幼な日思ふ

白石 勇

魚島俳歌柳会【魚島】

一豊の妻と言いえず過ぎた嫁

大袈裟なお世辞おせじと笑う妻

佐伯 真柳

人の世の機微も判らず野暮な人

肩書きは年功序列そのままに

ぜんきょう

蛸漁で精霊舟に手を合わせ

双手上げ駆け来る孫の夏帽子

久保 かすみ

聴衆の心に爽風

7月28日、今治市公会堂において、中学生弁論大会が行われました。

法務省が主唱する「社会を明るくする運動」今治地区推進委員会が毎年開催しており、今年で53回、半世紀に余る歴史を持っています。

これまで今治市内の各中学生代表によって行われていましたが、今回初めて上島町内の中学生代表が加わりました。

これは法律に触れる行為をした時、法律上の処分を受ける14歳以上の少年たちが、中学2年生の年

二束ね茗荷と惹で昼の膳
虫の音に聞きはれていて夜も更ける
しんどふじ

10月は「土地月間」

10月1日は「土地の日」です

土地は貴重な資源であり、私たちの生活や企業活動にとって不可欠な基盤です。国土交通省では、土地が適正に利用されるよう、10月を「土地月間」と定め、広報活動等を通じて国民の皆様へ理解を深めていただけるよう活動しています。

中学生弁論大会に 岩城中から初出場

年齢に当たるところから、その意味を自覚して健全な学校生活を送ってほしいとの願いに立っています。

岩城中の林拓海くんが「大切な家族」という演題で参加しました。「家族から掛けられる言葉や見守りのはしほしに思いやりと愛情を感じ、大切な家族に感謝している」と述べ、聴衆の心

にさわやかな風を届けました。

毎年7月に参加する中学校の代表たちに声援を送って下さい。

